



国分寺小 校長室だより

木の陰

～第3号～

令和3年5月28日



読み聞かせがスタートしました

今年度も、本校で毎年お世話になっている読み聞かせボランティア「むくの木」、昔語りボランティア「ゆうがお」の皆様による読み聞かせが、5月6日（木）から始まりました。この日は、2年生から6年生までの各学級で行われました。毎月、第一木曜日の朝の時間に、読み聞かせを行っていただく予定です。子どもたちは、この時間を楽しみにしています。「むくの木」「ゆうがお」の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



クラブ活動もスタートしました

4～6年生が楽しみにしているクラブ活動が、5月20日（木）から始まりました。今年度のクラブは、屋外スポーツ、屋内スポーツ、卓球、英語、読書、イラスト、工作、パソコン、家庭、音楽の10クラブです。初回は、どのクラブも組織づくりや活動計画を立てました。各クラブで、共通の興味・関心を追求し、協力して楽しく自主的に活動することを目的として行っています。今年度は、予定通り年間11回実施できることを願っています。



一人一台タブレット端末を活用し始めました

国のGIGAスクール構想に基づき、下野市で一人一台タブレット端末が整備され、5月の連休明けから、活用が始まりました。教員も校内、校外の研修を行い、操作方法やアプリケーションの内容を学びました。児童も、きまりや使用方法から始めて、実際の授業でも活用しています。さすがデジタル世代、児童があっという間にタブレットを使いこなしている姿を見ます。

この端末を有効に活用し、考えを共有し、交流させる「協働学習」や双方向型の「一斉学習」、一人一人の進捗や学習状況に応じた「個別学習」を実現していきます。なお、市の計画により、タブレット端末を家庭に持ち帰って活用する時期は、後期（10月）を予定しています。



ありがとうございました

地域の方から、折り紙の作品（海老原 節子 様）や花瓶敷き（松本 紀代子 様）を、学校に寄贈していただきました。誠にありがとうございました。



今年度の国分寺小学校の教育活動実施について

日頃より、新型コロナウイルス感染防止に向けてご協力をいただき、ありがとうございます。お子様や保護者の方の体調がすぐれない場合は、登校見合わせやご相談をいただいております。おかげさまで、感染防止を維持できております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

さて、依然として新型コロナウイルスの感染状況は、収束の方向性が見通せない状況ですが、国分寺小学校では、引き続き感染症対策に万全を尽くしながら、できる教育活動を復活させたり、方法を工夫して新しい方式で行っていく予定です。

栃木県や訪問する県の警戒レベルに応じて、実施か中止（延期）かを判断していきます。その判断基準をお示しします。各教育活動は、主に、運動会、遠足（1～3年）・宿泊学習（6年修学旅行、5年臨海自然教室、4年宿泊学習）、校外学習です。

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| ◆警戒レベル4（緊急事態措置）・・・各教育活動を中止（延期）します。 | } 各教育活動を実施します。 |
| ◇警戒レベル3（まん延防止等重点措置） | |
| ◇警戒レベル2.5（嚴重警戒） | |
| ◇警戒レベル2（感染注意） | |
| ◇警戒レベル1（感染観察） | |

この他にも、以下の場合にも、中止（延期）することがあります。

- | |
|--------------------------|
| ◆学校関係者で、感染者や濃厚接触者が発生した場合 |
| ◆保護者の参加意向が、90%を下回った場合 |

以上の判断基準を基に、直近の状況を検討して総合的に判断します。

なお、運動会（11月6日土曜日予定）は、国分寺運動公園で半日（昼食なし）で実施する予定です。

各教育活動の実施についての詳細は、その都度文書でお知らせします。

令和3年度 国分寺小学校経営方針の具体策について No.1

～かしこく～

1 学校課題研修をとおして『教科の特質を生かし知恵を育てる授業創造』を図ります。

学校課題テーマ

「学び合い・高め合う児童の育成」

～各教科の特質を生かし、対話的な学びの実現に向けた授業の創造～

- (1) 各教科における見方、考え方を生かした授業を工夫します。
- (2) コミュニケーション能力を発揮し、主体的で対話的に学ぶ授業を工夫します。
- (3) 教師の授業力〈専門的識見・ファシリテート力〉の向上を目指します。

2 家庭における自主学習習慣の確立を目指します。

- (1) 家庭学習の進め方について研修し、実践します。
- (2) 家庭との連携について研修し、実践します。
- (3) 休日・休業中の家庭学習について研修し、実践します。

3 読書活動の活性化を図ります。

- (1) 読書時間や場・機会を確保します。
 - ① 読み聞かせ ② 国語科関連読書
- (2) 読書の質の向上を図ります。
 - ① 本を見るから読むへ ② 選書指導〈図書館との連携〉
- (3) 家庭との連携を図って行います。
 - ① 家庭学習としての読書⇒読書週間の設定「家読（うちどく）」を実践します。

